

<b>第 24 回 高知県四万十川流域保全振興委員会（概要版）</b>	
<b>日 時</b>	平成 31 年 2 月 14 日（木） 13:30～15:30
<b>場 所</b>	四万十町役場本庁舎（東庁舎）1 階 多目的ホール
<b>参 加 者</b>	22 名
<b>配布資料</b>	第 24 回 高知県四万十川流域保全振興委員会 会議次第 第 24 回 高知県四万十川流域保全振興委員会 出席者名簿 第 24 回 高知県四万十川流域保全振興委員会 配席図  議題（1）関係資料 資料 1 四万十川条例に係る平成 34 年度目標指標（案）について 資料 2 平成 34 年度目標指標（案） 参考資料 1 平成 34 年度目標指標（案）検討資料 報告事項（1）関係資料 資料 3 四万十川沈下橋保存方針の一部改正について（報告） 報告事項（2）関係資料 資料 4 共生モデル地区（四万十町大正中津川地区）との協定締結について 大正中津川集落の人と自然が共生する地域づくり協定書
<b>議 事 録</b>	
<p>○委員の開催要件の充足 委員 14 名のうち 9 名が出席。委員の過半数の出席のため、会の開催要件を充足。</p> <p>○本会の議題 1 四万十川条例に係る平成 34 年度目標指標（案）について</p> <p>○報告事項・協議事項 1 四万十川沈下橋保存方針の一部改正について 2 共生モデル地区（大正中津川地区）との協定締結について</p> <p>○その他（情報共有など）</p> <p>○各議題について 1 四万十川条例に係る平成 34 年度目標指標（案）について</p> <p><b>【事務局】</b> 議題 1 関係資料に基づき、四万十川条例に係る平成 34 年度目標指標（案）について説明。</p>	

【中越会長】

【18】有害鳥獣の捕獲数について、過去のデータは遡れるのか。

【事務局（主査）】

遡れる。ただ、旧市町村単位で集計するのは難しく、例えば中土佐町には久礼も入るが、四万十川条例では旧大野見だけになっている。現在の市町村単位だとそういった事例が生じてしまうが、そこはご了承いただきたい。

【平塚委員】

有害鳥獣とは何を対象にしているのか。

【事務局（主査）】

主にイノシシとニホンジカである。

【中越会長】

【21】②道路情報板等の整備状況について、夜間走行時に案内板や標識がライトで反射するように反射材が使われているかどうかを調べる項目もあったら良いのではないかと。安全な走行ということで、入れるとしたらここしかないと思う。

【事務局（課長）】

把握できていないのではないかとと思うが、何とか拾えないか各土木事務所に相談してみる。

【アウテンボーガルト委員】

【31】農家民宿の軒数について、現在は“農家民宿”と名乗っている宿の数はほぼ横ばいか減少しているという状況であり、今後増える可能性が低いという懸念がある。

【事務局（チーフ）】

文化財のように、減っているとしても動向として押さえていく数字というものもある。今後、農家民宿の軒数としてすみずみツーリズムの会員数で置き換えられるかどうか、事務局で一度検討させていただきたい。

【中越会長】

私はこの指標で十分ではないかと思う。あまり変化の無い状態があっても、事実としてそれはそれで結構だと思う。

【中越会長】

【35】公共事業における木材の利用状況について、これは間伐材のペレットのようなものも入っているのか。

【事務局（主査）】

ペレットは入っていない。

**【山下委員】**

【40】流域の人口について、この流域というのはどこを対象としているのか。

**【事務局（主査）】**

四万十市、四万十町、中土佐町、津野町、梶原町を対象としている。

**【山下委員】**

実際、四万十川流域には11市町村あるが、そのうち5市町しか集計していないという記事を記載しておいたほうが良い。

**【中越会長】**

【46】伝統漁具の保存・継承状況について、四万十川でだけ特別使っているものだけでなく魚を捕るために必要な漁具はあり、それをどのように把握すれば良いのか。

**【山下委員】**

川の魚を捕る漁具としてはたくさんあると思う。調査方法として歴史民俗資料館に照会するだけになっているが、ほかにも流域住民の家にたくさんあり、その調査が難しいかもしれない。その集計ができれば192点よりはるかに多くなると思う。

**【中越会長】**

内水面漁業は四万十川において非常に重要なため、もう少し大事な項目として追跡してみしてほしい。

**【西内委員】**

併せて、禁止漁具と禁止漁法を明確にしたら流域のためには良いのではないかと。

**【山下委員】**

禁止漁法は決まっているが、河川によって違っていたり時期によっても異なる。また、現時点の禁止漁具は県の「内水面漁業調整規則」に載せられている。

**【中越会長】**

その規則に対する違反数について、交通事故などと同じようなネガティブ指標としてあっても良いと思う。「内水面漁業調整規則」の違反の件数が把握できるか県で確認してほしい。

**【平塚委員】**

逆に伝統漁具を使うための漁法というのも保存すべきことなのではないかと。

**【事務局（課長）】**

つまり、今ある192点の漁具の使い方をもっとみなさまに知らしめる努力をしていくべきだということで理解した。

**【溝渕委員】**

【49】文化財等の活用状況について、そこでイベントを行なった場合に“活用”ということになる。これは恐らく市町村の許認可で大体把握できると思う。

【中越会長】

【53】レジ袋削減に「みんなにマイバッグ」について、レジ袋の有料化だけの問題ではなく、もう少しハードな基準でも良いかと思う。

【事務局（課長）】

この項目については各年度でかなり動きが出てくると思うので、そのつどご相談させていただきたい。

【中越会長】

【54】新エネルギー発電の導入容量について、例えばバッテリーを使うような自家発電は四国電力で把握できないのか。

【四国電力】

各個人宅の太陽光発電などは把握しきれない。

【事務局（課長）】

例えば売電目的ではないが、四国電力の電線に繋がっているところの数とかであれば把握できる。

【岡村委員】

「環境に負荷をかけないライフスタイルが保たれている」という大項目であるため、FITの売電量を指標とするのは違うのではないか。5年に一度の住民意識調査の際に自家発電設備があるかどうかを問い、その割合を追うのはどうか。

【事務局（課長）】

それは可能である。

【飯國委員】

各項目どうしの因果関係を考える際に、少子高齢化問題や移住者といった“社会”という視点がもう少し入っても良いのではないか。

【中越会長】

項目ごとの分析だけではなく、関連するいくつかの項目を集め、視点を変えながら分析していけば良い。

○報告事項

1 四万十川沈下橋保存方針の一部改正について

【事務局】

報告事項・協議事項（1）関係資料に基づき、梶原川河川状況調査会における評価と検討（概要）について報告。

【中越会長】

沈下橋は同じ時期に造っているため全体として相当傷んでいる。おそらく改修の必

要時期にはピークがあると思うため、真剣に対応を考えておく必要がある。そのつど、耐震性を高めることと景観に配慮することの両方を実現していただきたい。

## 2 共生モデル地区（大正中津川地区）との協定締結について

【事務局】のことをやっぺいこうという方向性にはなっていない。

報告事項（2）関係資料に基づき、共生モデル地区（大正中津川地区）との協定締結について報告。

【平塚委員】

黒尊流域において共生モデル地区を経験した反省から言うと、高齢化という現実に対して、若い人たちが活かしていけるような取組ができれば継続していけるのではないかと思う。

【溝渕委員】

高齢化が進む今、個々のグループ同士の連携がとても重要である。

【岡村委員】

例えば、県の産振計画の補助を取る際に共生モデル地区は加点になるといったように、自然や伝統を守り資産として蓄えられていくことに対して、公共としてもう少し目に見える支援を考えていただけると良いと思う。

## ○その他（情報共有など）

【溝渕委員】

「四万十街道ひなまつり」は今年で12年目になるが、これからは次の第2世代的な動きになってくる。また、秋に芸術祭を行なうと県から30万円ほどの補助をもらえる仕組みがあるが、それが冬場にも活用できると、市町村の活動グループがその気になってくれるのではないかと思う。

【飯國委員】

文化的に3月しかだめなのかもしれないが、夏や秋に実施しても良いような、行ってみたい企画だと思う。

【中越会長】

5月人形を題材にし、男性客を誘致するような企画があっても良いと思う。

このような取組みについて、県からも情報を流していただき、多くの2世代目を育てていただきたい。

【谷脇委員】

新庄川の中流域では、現在砂利が完全になくなりゴツゴツした石だらけになってい

る。それもあって河原で遊ぶということがなくなっている。そのなくなった砂利がどこに溜まっているのか、下流域の状況について分かることがあれば教えてほしい。

**【山下委員】**

例えば、昔はもっと深かったところが浅くなっているというのはある。ただ、ベースのデータがないためどのような変動があるかなんとも言えない。ベースのデータをきちんと取っておけば今後の対応もできるようになる。できれば定期横断測量をしてほしい。現在、陸上と水中を同時に取るグリーンレーザー技術というのがあり、四万十川ではまだされていないのでぜひやってほしい。今どんな問題が起こっているのか、またどうすれば良いのかという対策に結び付けることができると思う。

**【中越会長】**

四万十川条例を持っているかぎり、四万十川の動態を知る必要があるため、河川断面を知るための努力をしてほしい。それを原点として今後どうするかを議論するべきかと思う。

以上